

団体名	あいな野草くらぶ		
団体の所在地	神戸市北区	代表者名	小原 征隼

1.事業名	里山希少植物環境保全のための市民活動
2.実施期間	平成24年5月～11月
3.主な実施場所	国営明石海峡公園神戸地区(未開園) (あいな里山公園)
4.活動形態	普及啓発活動 実践活動
5.活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>① 5～11月(月2回)野草自生地整備作業 延べ会員参加者数 126名 適度な採光を得るための草刈りや雑木の間伐作業を実施</p> <p>② 6/17 ササユリ観賞会開催 市民参加者 21名 会員参加者 13名 自生地に咲くササユリ等の野草を見学してもらい、当会の活動への理解を深めてもらった。終了後 5名の新規入会者があった。</p> <p>③ 5月～11月植物育成環境改善作業 既存の種子採取や希少植物の増殖、イベント食材等の栽培地は、鹿や猪の食害が増加傾向にあったため、移転を余儀なくされた。新規育成地(約300㎡)には食害対策の電気柵を設置し、併せて土壌改良を実施して、育成環境の整備を図った。この作業は国営公園内で活動する他のボランティア3団体との協働でおこない、除草、育苗用土の搬入、混合、土留め柵(竹林で間伐した竹を四ツ割にして竹シガラを組んだ)の設置を完了し、今後順次採取した種子から育成した苗や山菜等を植え付けていく予定。</p>
6.成果・反響・ 反省点等	<p>① 自生地の希少植物の個体数が徐々に増加している。</p> <p>② ササユリ観賞会後に新規会員も増加し、整備作業もやりやすくなった。従来鹿や猪の食害に悩まされていたが、電気柵の設置により、これからは安心して新しい希少種などが育成できる。</p>
7.成果物	新野草園(土壌改良して植物の育成環境整備および鹿・猪の食害対策の電気柵設置)

8.活動写真・説明



自生地の整備作業



ササユリ観察会



新野草園完成後